

第2章 単純回帰分析(補足)

Excelデータの読みこみ

TSP で読みこめる Excel ファイルは、「Excel4.0 以前のバージョンで作成したワークシートである」という条件があったが、Excel2007 では Excel4.0 ワークシート形式で保存することができない。

そのため、Excel で作成したデータは、CSV 形式で保存¹し、プログラム内で変数名をつけて読みこむ。

下のようなデータを、ex2-1c.csv という名前で保存しよう。

	A	B	C
1	1989	233.0	266.0
2	1990	243.7	279.4
3	1991	251.0	291.1
4	1992	256.9	295.6
5	1993	260.3	297.8
6	1994	267.3	302.2
7	1995	272.0	305.0
8	1996	278.6	305.5
9	1997	281.2	309.1
10	1998	280.2	311.7

このデータを分析するためのプログラムは次のようになる。ex2-1c.tsp という名前で保存しておこう。変更点は太字で記した。

```
freq a;  
smp1 1989 1998;  
read(file='h:ex2-1b.csv') Date Y X;  
graph x y;  
olsq y c x;  
ste=@res/@s;  
graph date ste;  
end;
```

¹ 他の形式で保存する方法もあるが、ここでは、csv 形式で保存する方法を紹介する。